

秋田で、納得。肝心なのは、自分で決める「リビング・ウイル」。

## 第24回 尊厳死協会東北支部秋田大会

# 「尊厳死 演劇・講演会」

日程 9月27日(日) 午後1時30分～4時

会場 秋田市にぎわい交流館AU(あう) 多目的ホール

(JR秋田駅西口から徒歩10分・最寄りのバス停、  
「千秋公園入口」か、「中通1丁目」または「中通2丁目」)

開会挨拶 市原 利晃 秋田大会実行委員長(東北支部理事・秋田往診クリニック理事長)  
挨拶 「公益財団法人化と尊厳死」 阿見 孝雄(東北支部長)

### 第1部 演劇「晴れのち日常、ときどき看取り」

劇団 小さなお世話

(午後1時45分～2時45分)



2016年11月に旗揚げ、医療・福祉関係者を中心とした多職種で構成されている劇団です。大きなお世話、よけいなお世話にならない程度に、認知症、特殊詐欺、看取り等のテーマを、寸劇とスライド説明を織り交ぜた分かりやすく楽しい演劇です。公演は秋田県内外で42回を数えています。

### 第2部 講演「リビング・ウイルと人生会議」(午後2時50分～3時50分)

講師 長尾 和宏氏 (日本尊厳死協会副理事長・長尾クリニック院長)

[医学博士。医療法人社団祐和会理事長。日本慢性期医療協会理事。日本ホスピス在宅ケア研究会理事。関西国際大学客員教授。2012年、『「平穏死」の10の条件』がベストセラーに。著書に『痛くない死に方』『薬のやめどき』『男の孤独死』や医療小説『小説「安楽死特区」』など多彩。]



人生会議が国策になっていますが、その入り口はリビング・ウイルです。元気な時から自分の最期について遠慮なく希望を書いて家族やお医者さんと何度も話し合っておきましょう。これは今回のコロナ禍においても大切なことです。できるだけ分かりやすく、お話しします。

閉会挨拶 三浦 亮 東北支部理事(元秋田大学学長)

定員 300人(無料) ※どなたでもどうぞ。時節柄、電話で開催の有無を事前に確認願います。

後援(予定) ©秋田県・秋田市・秋田県医師会・秋田市医師会・秋田県歯科医師会・秋田市歯科医師会・秋田県薬剤師会・秋田県看護協会・秋田市社会福祉協議会・秋田魁新報社・河北新報社・秋田朝日放送・秋田テレビ・秋田放送・日本放送秋田支局

お問い合わせは 東北支部(電話022-217-0081)か

秋田大会実行委員会(秋田往診クリニック・電話018-834-1048 担当佐々木)へ